

OSSコミュニティ参加における運用紹介 (プログラム投稿に関して)

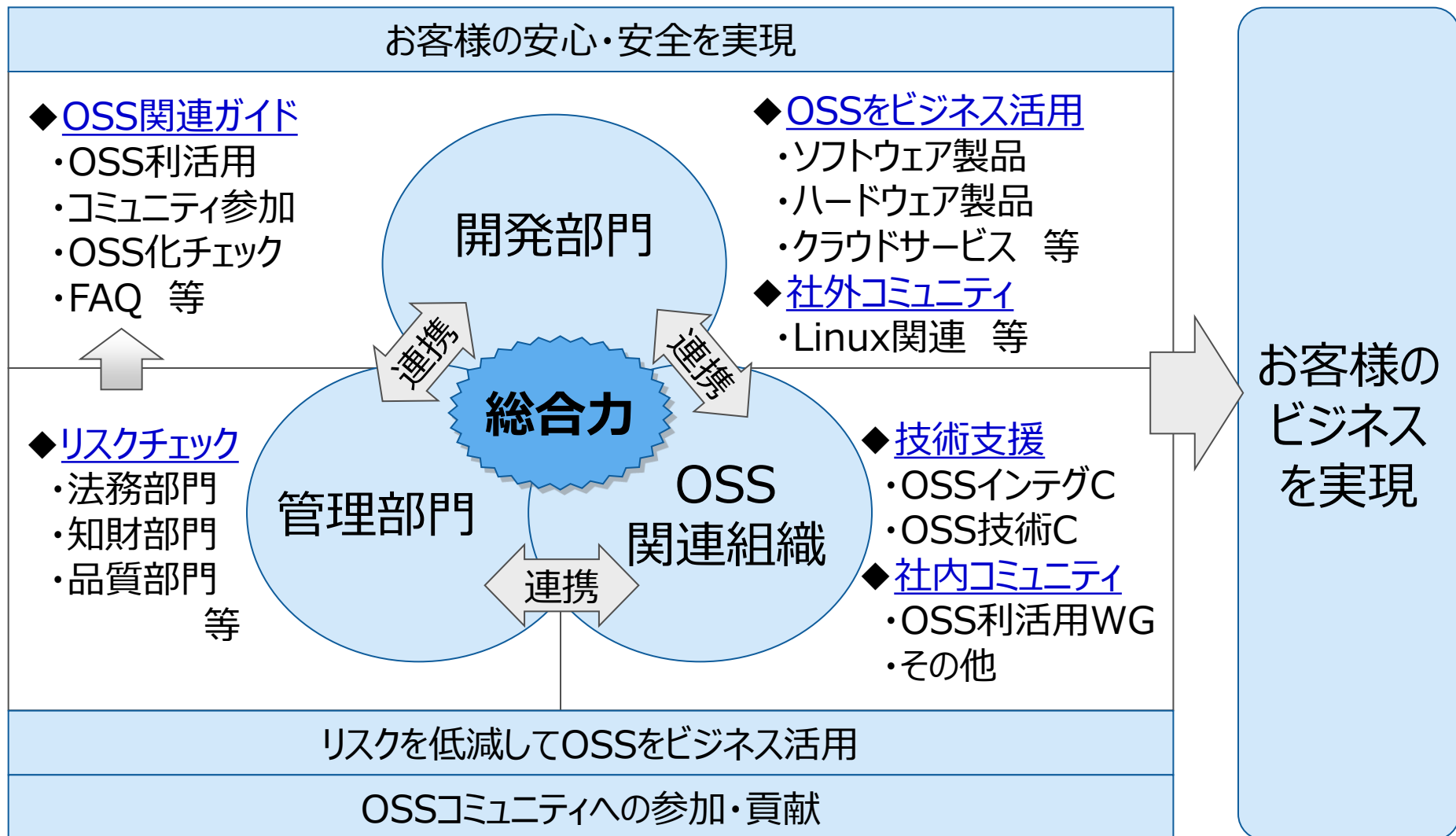
2017年3月17日
富士通株式会社
八田 裕之

■ 八田 裕之 (Hiroyuki Hatta)

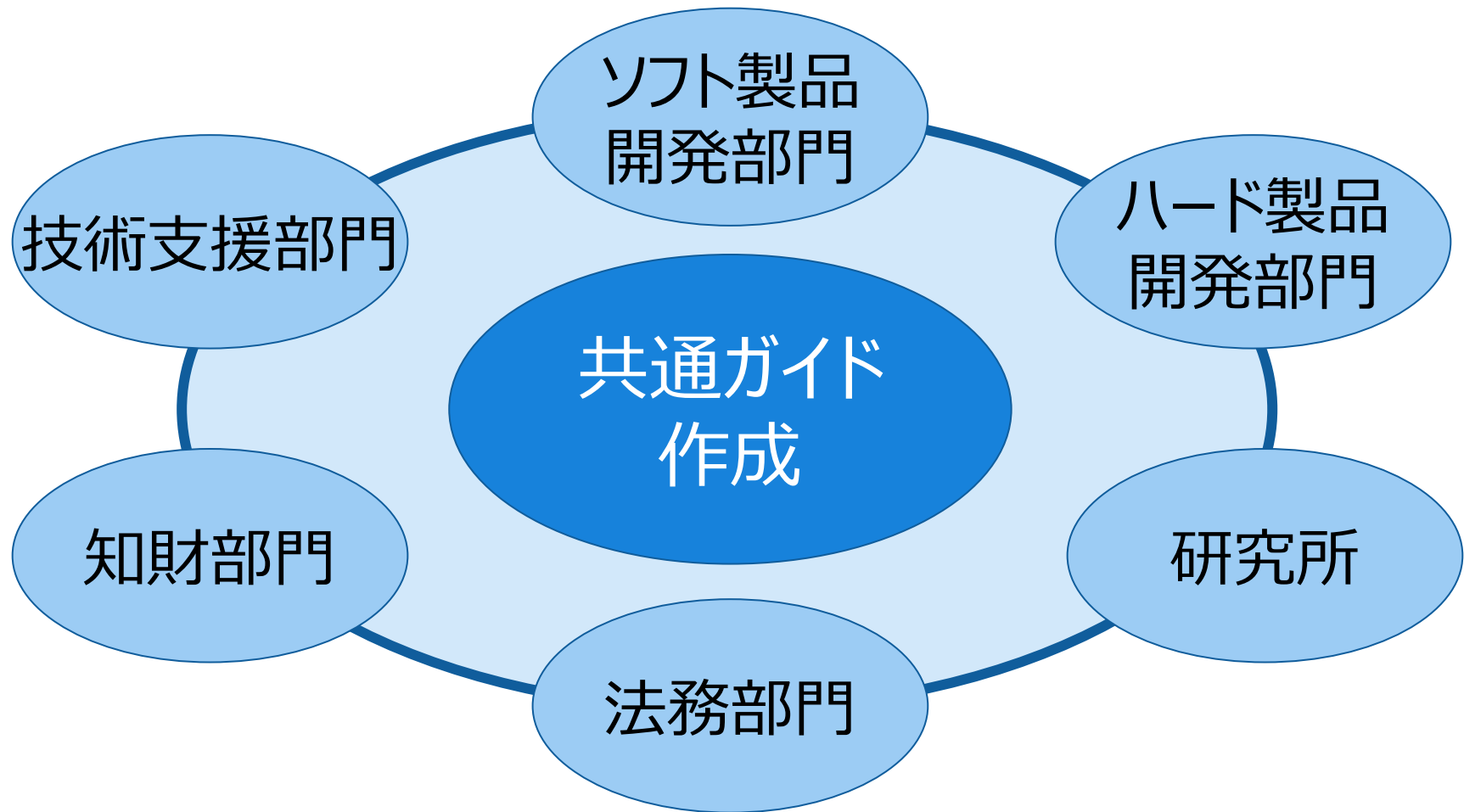
- 元々はエンジニアとして入社
通信機器、画像伝送装置のハード／ファーム開発に従事
- 現在は知財部門。もう10年以上
以後、特許出願推進、特許調査／分析、渉外対応等
主に知財リスク対応が専門
その流れで近年はOSSライセンスに携わる
- 特技：ギター演奏
趣味：乗り鉄（JR完乗）、ジェフ千葉サポーター

OSSに関する体制

富士通の総合力を生かして、OSSへの貢献・活用を実現



(参考) OSS利活用に関するリスクヘッジ



- ・社内コミュニティで共通事項をまとめ、「OSS利活用ガイド」として発行
⇒ 各部門のビジネスに合わせてカスタマイズ後、ルール化
- ・OSS利用状況は、システムで管理

1. 情報共有

- ・他部門が既に参加していても分からない
- ・契約チェック等の社内手続きが二度手間

2. ルールの 明確化


- ・関連する社内手続きが分からない

3. 不安解消

- ・参加してもよいか否か分からない

4. 貢献の 必要性

- ・ガバナンスの効いた中で積極的なOSS利活用を促進する仕組みが必要



OSSコミュニティへの投稿に関する社内ルールの明確化が必要

作成にあたっての悩み所

➤ 個人の趣味と会社の業務をどう区別するか

⇒ どのコミュニティに誰が参加するかを責任者が管理する

➤ 他部門保有の特許の許諾をどのように取得するか

⇒ 各部門に設定されている知財の責任者に承認を得る

➤ 海外グループ会社との情報共有をどうするか

⇒ 海外グループ会社向けのWebサイトで情報共有

➤ 既存の社内手続きに関係するものがあるか

⇒ 契約チェック、輸出管理等の関連する社内手続きを調査

➤ 開発者に負担を掛けず、短時間で処理するにはどうするか

⇒ 参加申請から承認取得までを一週間を目安に行なう

実行性のあるルールにすべく、コミュニティ参加のメンバと意見交換

目的

OSSコミュニティへプログラム等を投稿する際の、社内手続きやソフトウェア開発者が遵守すべき事項、社内関連部門の役割を明確にすること

対象

富士通グループにて、既存のOSSに反映するためにOSSコミュニティへプログラムやドキュメント等の投稿を行う部門、開発者等の関係者を対象とする

構成

第1章. OSSコミュニティへの参加申請
第2章. プログラム投稿時の自己チェック

コミュニティ の評価

- 対象OSSのライセンス条件が、商用利用禁止や配布禁止など、当社ビジネスに不都合な条件はないか
- コミュニティの活動は活発か、特定企業に依存していないか

申請手続き

- 申請者は、社内Webサイトより事務局へ申請
- 申請者は、法務部門へ契約チェック依頼
- 事務局は、技術部門の承認取得
- 事務局は、承認取得後、社内Webサイトに公開

申請部門の 運用決定

- 申請部門の責任者は、以下を決定
 - ・投稿するコミュニティと投稿する開発者を決定
 - ・投稿する際の手順を決定
(投稿記録の保存、輸出管理のチェック、その他)

著作権

- 他者の著作物やOSSを含んでいないか
(著作権侵害やライセンス違反のチェック)

秘密情報

- 自社、他社の秘密情報を含んでいないか
(情報漏洩のチェック)

特許権

- 機能追加を行う場合、
 - ・ 特許侵害がないか (他社特許の侵害防止)
 - ・ 特許出願が可能か (当社権利の確保)

※もちろんコミュニティや対象OSSへの権利行使はできないが、ビジネスでの活用を想定

投稿

- 部門の手順に従い投稿実施
 - ・ 投稿の管理は、投稿部門の幹部社員の責任

関係者の理解が重要

開発者から疑義があれば、知財部門から現場に出向き、OSSを活用していくために必要な施策であることを丁寧に説明し、お互いに理解し合った。

各部署からの反応

開発者 : 従来、投稿してもいいのかとの不安を抱えながら行っていたが、投稿してもよいことが明確になってよかった (^-^)/

開発者 : 投稿の都度、申請するようなことはできない (-_-#) ← 誤解

開発者 : 参加するコミュニティで他のコミュニティのOSSを扱っている場合は、どうすればいい? (~_~;)

開発者 : 申請から一週間も掛かるのは困る。その日に投稿したい (-_-#)

技術部門 : 一週間で部門内の確認をとるのは難しい (-_-#)

OSS コミュニティ参加リストイメージ

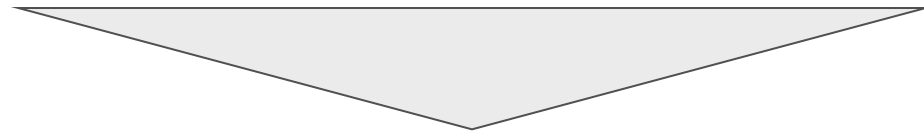
■OSSコミュニティへの参加状況【2017年〇月〇日現在】

項	承認状況	1.コミュニティ名称	2.コミュニティURL	3.OSSコミュニティ概要	4.適用ライセンス名	5.契約/規約有無	6.契約/規約のURL	7.ファウンダー有無	8.コミュニティの参加企業/団体
⋮				⋮			⋮		
16	承認済	Yocto Project	https://www.yoctoproject.org/	組込み向けにLinuxベースのシステムをカスタマイズするためのフレームワークを開発するコミュニティ。	GPLv2, BSD, MIT等	あり	https://wiki.yoctoproject.org/wiki/Community_Guidelines	あり	Intel, Freescale, TI, Renesas, Wind River Systems, MontaVista Software,等
⋮				⋮			⋮		

9.富士通Gr内で既に参加部門があるか	10.投稿予定	11.参加目的	12.協力部門	13.グループ内問合せ対応	14.責任幹部社員	15.投稿担当の代表者名
⋮		⋮			⋮	
参加なし	早急に投稿予定	富士通グループ向け組込みLinuxディストリビューションの開発効率化のため。	FNST	対応可	〇〇〇〇	××××
⋮		⋮			⋮	

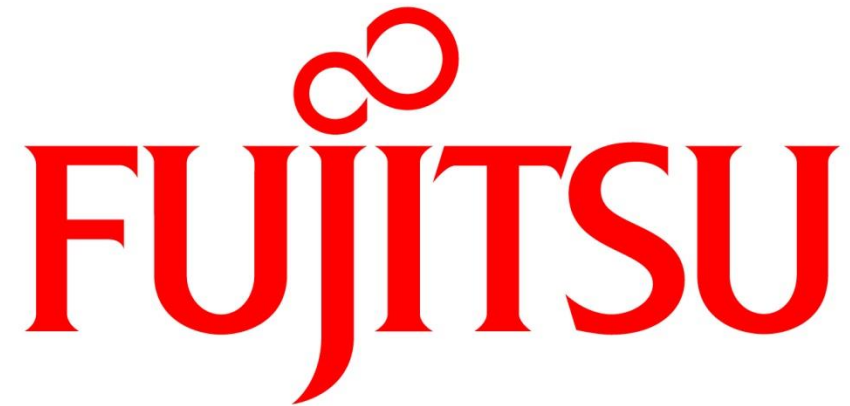
現在ではスムーズに運用されている

WEBサイトで情報共有	英語化	連携
富士通グループ内で、どのコミュニティに参加しているか一目瞭然	海外グループ会社向けにガイドラインを英語化	コミュニティ参加部門とOSS利用部門とで連携可能



Give & Take

- ・バグ修正
- ・マニュアル修正
- ・機能追加
- ・普及活動
- ・コミュニティ支援 等



shaping tomorrow with you